

## 第1部 外部有識者会議（外部有識者からの提言）

### 【入試に関すること】

- ・AOや高大連携型選抜等、四天王寺大学を目指す生徒にとってチャンスが沢山あり、有意義である。
- ・様々な方法での入学者選抜を実施していて面倒見がよい。
- ・高校生が自分で考え選択するに当たっては非常に複雑化しているため、保護者の参加を意識していることが良い。

### 【四天王寺大学や学生の印象】

- ・他大学と違い面倒見のよい大学である。
- ・高校で良い先生がいると娘から話があり、四天王寺大学の卒業生であった。
- ・自分の夢や実社会で勉強したことを役立てるにはどうしたらよいかを日々考えている方が多いと感じた。
- ・学んできたことをうまく表現しきれない学生(社会人)が多い。

### 【高大連携】

- ・高校を卒業し、四天王寺大学へ入学した学生がどのように成長しているかをフィードバックしていくことについて、大学が高校に求めている教育が伝わり、高校側も大学での学びを認識してカリキュラムの工夫ができる。

### 【教育内容】

- ・先生方の取り組みは伝わっていると感じるので、引き続き取り組みを進めていただきたい。
- ・三つのポリシーについてしっかり考えておられると感じた。
- ・4年間という貴重な時間で身につけるものというのは、現場にいくと非常に大きな武器(カード)になる。こういったことを持ち合わせた方が教員になると素敵な先生になると考える。大学の教育改善の視点の1つに入れていただきたい。
- ・これだけのカリキュラムがあり学部内で必死になって勉強しないと追いつけない、オンラインがあり課題も多く真面目に取り組む一方で、遊びの部分(人間の幅を広げる)がここ2年くらい出来ていないのではないかと思います。従来であれば体験できたことが制限されているので、その部分をどのように育てるか、自分たちでどのように取り組んでいくのが難しいところであろう。

### 【キャリア支援】

- ・アルバイトやインターン(見学程度だが)によって就職を志望される場合は、学生時代から考える要素を授業の中で組み込み、早い段階から指導が行われるため、企業にとってはありがたい。
- ・学生生活の中で企業に対する意識醸成に努めて取り組んでいただきたい。
- ・学生が和の精神を持って実社会で活躍できる人間形成は出来ていると思う。
- ・早く社会に適応していけるか、自分で考え行動できるかが非常に大切であり、そのような卒業生を輩出していくことを貫いていただきたい。
- ・事業の目的や進行管理等、きちんと書かれているかを求められる。周囲で丁寧に指導してくれる人は少ないため、就職するまでにしっかり身につけてほしい。
- ・「書く」実践をしていれば、公共的な機関に入っても文章も書けると思う。独創性を持った文章を書くことで、就職にも役立つ。
- ・大学のキャリア支援の中で、社会人として自立して働くこと、社会の一員になることが活かされているのでしょうか。夢が叶わず異なる業種へ就職しても、夢を諦めきれず退職した方がいる。夢を応援できる体制を整えておきたいと思う。

【教職関係】

- ・卒業生から管理職になられる方や指導主事に着任される方等がおられ、頼もしく感じ、非常に感謝している。
- ・教員本人の学力が課題である。
- ・採用試験に通らなかった学生に勉強を教えるカリキュラムがあるとのことだが、既卒生にも同様なフォローがあれば採用試験に合格し、貴学出身の教員が増えると思う。
- ・魅力的な受験生の共通点は、いろいろな質問をした際に下手でも自分の言葉で答えようとしている方は印象に残る。語彙力とはまた違い、「自分の言葉」で伝えようとしてくれる方で、コミュニケーション力だけではなく柔らかく対応できるかが大切である。

【地域連携】

- ・羽曳野市や藤井寺市等の地元出身者がもっと増えればよい。
- ・自分が学んだ土地で働く方が増えればよいと思う。
- ・行政では新しい課題も多数抱えており、行政としてやったことのないこともできている。これからさらに絞り込んで何か協力していただけるのであれば助かる。
- ・市の審議会等において、引き続き大学がもっているノウハウでご審議いただきたい。
- ・地元である貴学とも何かしていきたいし、お願いする事案もあるかと思う。組織を立ち上げられて「このようなことに協力できる」という内容をお知らせいただければ前向きに検討したい。